

～2019年の過ごし方は人生の枝分かれポイント～

2019年 堅調業績の3つのポイント

グローバルアミューズメント株式会社
代表取締役 青山 真将樹

Hondaのマーケティングプロジェクトリーダーとして新商品の開発企画に従事。
企画商品は「日本カーオブザイヤー」、「日経新聞大賞」など各賞を獲得。
2007年、とあるコンサル会社に入社。在籍6年9か月で4度の
「年間最多コンサルティング受注」を獲得、現役最強トップコンサルタントとして
突出した存在となる。2013年12月、パチンコ・パチスロの機械評価・市場分析に
特化した、コンサル&シンクタンク会社グローバルアミューズメント株式会社を設立。
現在、ホール&メーカー双方から支持される業界唯一のコンサルタントであり経営者。



皆様、新年あけましておめでとうございます。2019年 第1回目の「データCOMPASS号外」の配信です。2019年、どのような成果をおさめるかは、“人生の枝分かれポイント”になると考えます。新年第1号の本号外では「2019年堅調業績のポイント」について、お伝えさせていただきます。よろしくお願ひ申し上げます。

■2019年の判断ポイント

「先に繋がる成果は◎」・「先に繋がらない成果は×」

2019年に堅調業績をおさめるため、以下3点にご留意頂ければと思います。

壱) パチンコ部門で堅調業績をおさめることが業績安定の絶対条件!!

これは昨年の新規出店等の結果を観れば明白ですが、極端な「パチスロ型店舗」は2019年は月をおうごとに、業績が低迷していくと考えます。既に、昨年の後半時点で、全国的に観ても20円パチスロは平均台粗利で「10%近く減」という月が頻発していましたが、認定切れ撤去が順次進んでいく2019年は、より、パチスロ部門の低収益化が顕著になっていきます。6号機は低投資機が多くなりそうですので、初期稼働はソコソコつきますが、売上・収益貢献は弱めになると想定

されます。旧基準機の設置比率制限が先延ばしになったため、「ギリギリまで、旧基準機で粘れば、、」と言う人もいますが、20円パチスロ部門の基礎収益性能が低下しているため、旧基準機も依然ほどは売上・収益貢献をしないと想定します。新規則影響を考慮すると、パチンコ部門の方が売上・収益性の低下が穏やかであることは明確で、今後は4円・低玉のいずれかで「堅調客数・堅調売上・堅調収益」を維持できる店でない、業績の安定感は大きく欠いていくと考えます。

似) 甘デジ部門の入替が結構重要なポイントになると想定。

ここ数年間、甘デジ部門は停滞が続いていますが、2019年は“甘デジ部門の再強化”は着目頂きたいポイントだと考えます。今年の甘デジ部門の動きを想定しますと、

- i) 設定付きを中心にリリース数が増える(おそらく2018年の倍近くにはなりそう)
- ii) 新規則機甘デジとなるので2021年以降も設置できる。

という状況となり、計画性の高い法人を中心に着々と甘デジ部門のテコ入れが進められると想定しています。おそらく市場全体では客数低下期となる秋以降に、「甘デジも頑張る」というような意見が増えていくと想定されますが、市況を考慮すると成果の出易い前半戦の内から計画的な甘デジ入替を進めた方が良いと考えます。甘デジ部門のテコ入れを行い、パチンコ部門の収益性に安定感をもたらすことは、旧規則機固定島などの“安定稼働コーナー”に、より安定感をもたらせてくれると考えています。

参) 2・3・4月の入替量を増やせ!!

2019年は大型機の登場は、概ね、年の中盤以降になると想定され、春先頃までは1～1.5万台規模の脇役機種迄が機械入替の中心になると想定しています。どうしても大型機種の登場に併せて、機械代を消化しがちですが、ここ数年間の市場を観るとより“前半の方が安定業績をおさめ易い”という傾向は顕著です。市況を考えると、2019年は「数字を詰めたければ、特に前半にラッシュを掛けた方が良い」と考えます。

後半戦の大型機種投入はどちらかというと「入替台数・売上&収益確保ともに、あまり無理無理にならない」というスタンスで挑んだ方が現在の市況にはマッチしていると思います。ぜひ、参考にしてください。さあ、さあ、皆様!! 2019年はめっちゃくちゃガンバロー!! 本日も最後までお読み頂きありがとうございました!!